

李登輝先生来日歓迎実行委員会が発足 日本の外交正常化を求めて

常務理事・事務局長

柚原 正敬

■日本は独立国としての対応を

去る八月二十五日、台湾の李登輝前総統が九月下旬に訪日の意向というニュースが駆け巡ったものの、その後、九月中旬に至って、政府は正式に申請があっても年内はビザ発給しない方針を固めた、と報じられました。

この報道に接し、李登輝氏来日実現を目的の一つとする本会では、日本政府に李登輝氏への査証（ビザ）発給を求めてゆくため、九月二日に「李登輝先生来日歓迎実行委員会」発足させ、その加盟団体を募りました。その反響は予想以上に大きく、九月七日には加盟が百団体を突破、九月二十五日現在で約百五十団体となっています。

それにしても、ビザを年内発給せずの報道に接したときは「またか」という思いでした。日本は独立国として、毅然たる態度を表明できないのかと腹立たしさを覚えたのは私どもだけではないでしょう。その問題点を、常務理事の林建良氏が今月号で執筆していますのでご参照ください。

私どもはこれまで通り、李登輝前総統からビザの申請があった場合、速やかに発給するよう政府ならびに外務省に働きかけていきます。そして、来日の暁には念願の「奥の細道」を歩いていただき、この歓迎実行委員会でもお招きしようと思っています。まだ加盟されていない団体のご加盟をお願います。以下、歓迎実行委員

会の趣意書を紹介します。

■この趣意書はホームページに掲載、加盟申込書もダウンロードできます。

<http://www.rinouki.jp/>

李登輝先生来日歓迎実行委員会 ご加盟のお願い（趣意書）

最近、政権与党の幹部や首脳を通じて、台湾の李登輝前総統が九月下旬から上旬にかけて、ご家族四人で観光を目的として来日される意向であることが報道されました。

前回、李登輝前総統が来日されたのは平成十三年（二〇〇一年）四月のことでした。周知のように、このときの来日に際しては査証（ビザ）発給を巡って、日本政府が中国（中華人民共和国）に配慮して査証申請を受理しなかったという不誠実な対応が明らかとなり、李登輝氏が激怒されたこともあり、結果的に査証が発給されたのは、心臓病の治療という人道的な観点からでしたが、日台の心ある人々の支

援があったからでもありません。

そこで、そのような査証発給問題を日本で起こさせないようにし、また、日本と台湾がこれまで続けてきた豊かな民間交流を先細りさせないために設立されたのが日本李登輝友の会であり、李登輝氏の来日実現をその目的の一つとしています。

一部報道によりますと、外務省幹部の「李氏は前總統のうえ、今も政治活動を続けており、純粋に私的な来日とは判断しにくい。十二月には台湾立法院（国会に相当）選挙もあり、ビザ発給は困難だろう」と、査証発給を牽制する発言も伝えられています。

しかしながら、總統を辞めてからすでに四年以上経ち、李登輝氏は今やまったくの私人の立場にあります。外務省幹部は「純粋に私的な来日とは判断しにくい」と発言しているようですが、それでは台湾で「今も政治活動を続けて」いる政治家はこれまで一度も来日していないのでしょうか。

実は、李登輝氏が来日した直後の八月十二日には馬英九・台北市長が福岡を訪問、山崎広太郎市長と会見し、福岡ドームで始球式に臨むなどして十五日に帰途についています。

また、その年の十二月十五日には連戦・中国国民党主席が夫人を同行して来日しています。これは日華議員懇談会の招待によるものですが、現職の国民党主席が来日したのは戦後初めてで、成田空港では交流協合理事長や台湾の駐日代表らが出迎え、連戦主席は海部俊樹・元首相や森喜朗・前首相なども会見し、七泊した後、二十二日に帰台しています。

さらに、昨年三月五日には今回の總統選挙で連戦候補とコンビを組んだ宋楚瑜・親民党主席が来日し、六日に福岡ダイエーホークスのオープン戦で始球式に臨み、十日には横浜で中田宏市長と懇談して十三日に帰台しています。その上、なんと總統選挙に正式出馬していた九月十六日には再び来日してい

るのです。

以上のように、日本でもその名を知られる台湾を代表する現役政治家が来日し、日本の政治家と会談しています。なぜ李登輝氏だけに査証が発給されないのか、不可解この上ないことです。日本政府及び外務省の対応に矛盾があるとしか言いようがありません。

つきましては、ここに日台交流に理解を示される日本と台湾の有志団体が相集って「李登輝先生来日歓迎実行委員会」を設け、李登輝氏への速やかな査証発給を求めるとともに、台湾に対する日本政府並びに外務省の歪んだ姿勢を正してまいりたいと存じます。

この趣旨をご理解賜りご賛同いただきますようでしたら、何卒ご加盟くださいますようお願い申し上げます。

平成十六年（二〇〇四年）九月吉日

日本李登輝友の会

会長 小田村 四郎